GAO ART MATERIALS

MADE IN JAPAN

せき　さい　いわ　え　の　ぐ

石彩岩絵具

全33色

11色各3種（8番・10番・12番）

1両目（15g）袋入

￥450（税込￥495）

石彩岩絵具は、鮮やかな発色 筆おりが良くて塗りやすい 混色性に優れた岩絵具です。

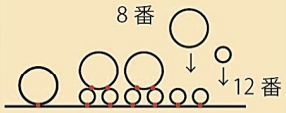
●石彩岩絵具はベースとなる白色顔料（体質顔料）に、発色が素晴らしく耐光性の強い有機顔料を定着させています。天然岩絵具や新岩絵具では叶わなかった鮮やかな色がご使用いただけます。
●石彩岩絵具は、筆先に顔料が下りてきて塗りやすくするように、ある程度の比重を持った体質顔料（色材を定着させるベースとなる顔料）を使用しています。
●同じ番号同士の石彩岩絵具は、比重の差が殆どありませんので、混色性が良く混ぜ合わせた時に希望する色が作りやすい岩絵具です。従来の岩絵具のように色により比重が異なると、混色して乾燥するまでに軽い岩絵具が上層に出やすくなります。
●石彩岩絵具は岩絵具の将来性を考えました。（ガラスを使った多くの岩絵具は変色や公害問題が指摘される鉛や重金属を含みます。また、天然鉱物は一部の色が希少価値で高価になる等の問題を抱えています。）
●石彩岩絵具の幾つかの色名には、江戸時代の日本で使用されていた材料名を付けています。例えば、江戸時代の文献では、貝殻を風化して作られる白色顔料の胡粉は、現在とは異なり貝殻を焼いて作った貝灰が紹介されています。紫鉱色はラック染めで染色に使用された材料から色名を付けました。石彩岩絵具の材料名とは異なりますが、画材の歴史にすこしでも興味を持っていただけたらと思い名称を考えました。

岩絵具のご使用が初めての方へ・使用に関しての注意点

◆GAO ART MATERIALS の糊剤、もしくは市販の糊剤（膠・樹脂・乾性油等）と混ぜ合わせてご使用下さい。混ぜ合わせる糊剤によって発色は異なります。
◆粗い 8 番の岩絵具を支持体（紙やキャンバス等、作品の土台となる素材）に直接塗る場合は、定着しにくい為、糊剤の濃度を濃い目にして下さい。もしくは 12 番等の細かい粒子の岩絵具を塗っておくと定着が良くなります。（[図 1] 参照）
◆岩絵具のような粗い顔料は、液体状の絵具にした場合に絵皿等の底に沈みます。描画の際は、絵皿を傾ける等して、底からすくうように岩絵具を筆に含ませて下さい。

[図 1]

粗い顔料は重くて接点が少ないため定着しづらくなります。細かい顔料を塗っておくと接点が増えて定着が良くなります。



支持体断面

粒子の大きさ

8 番・粗い

⇕

12 番・細かい

かいばいいろ 貝灰色	べにばないろ 紅花色	し こういろ 紫鉱色	せきおういろ 石黄色	とうおういろ 藤黄色
8 番	8 番	8 番	8 番	8 番
10 番	10 番	10 番	10 番	10 番
12 番	12 番	12 番	12 番	12 番

ろくしょういろ 緑青色	こんじょういろ 大青色	はなだいろ 縹色	ほんむらさきいろ 本紫色	べん　がら　いろ ベンガラ色	すみいろ 墨色
8 番	8 番	8 番	8 番	8 番	8 番
10 番	10 番	10 番	10 番	10 番	10 番
12 番	12 番	12 番	12 番	12 番	12 番

注意：アルカリ性の液体に長時間浸けると色落ちする事があります。　※印刷物の為、色は実際の商品とは異なります。

株式会社 小島美術

124-0022　東京都葛飾区奥戸 7-7-18
TEL：03-6657-6057　FAX：03-6657-6058

▼ 弊社商品に関する説明・使用方法は WEB サイトをご参照下さい。 ▼

http://www.kojima-art.com